

# 立

# 樹

# 大



函南町教育委員会 生涯学習課  
〒419-0122 函南町上沢 81 函南町中央公民館 (TEL979-1733 FAX979-1744)

## 函南町青少年健全育成大会を開催

「函南町青少年健全育成大会」は、県の「静岡県青少年の非行・被害防止強調月間」である7月に開催されています。また、あいさつ運動や県下一斉少年補導・立入調査なども併せて行っています。

今年も7月8日に函南町中央公民館で「地域のみんで声掛け運動」をテーマに開催されました。当日は、各種団体関係者や各小中学校PTA会員など約400人が参加しました。

主張発表者とポスター特選受賞者は次のとおりです。

**わたしの主張発表者**

- 服部未貴 (函南小6年)
- 「あいさつで輝く函南小へ」
- 渡邊良太 (丹那小6年)
- 「陸上を通して学んだこと」
- 矢口義晃 (桑村小6年)
- 「自分をきたえる」
- 比田美海 (東小6年)
- 「固く結ぶこと」
- 若山彩夏 (西小6年)
- 「命の大切さを伝えられる人」
- 高橋つぐみ (函南中3年)
- 「清掃の価値観」
- 田中美帆 (東中3年)
- 「一通の手紙から得られる物」
- 佐古あかり (田方農業高校2年)
- 「社会の一員として」



▲わたしの主張発表

## 第62回社会を明るくする運動ポスター特選受賞者

- 町長賞  
山口侑加 (函南中3年)
- 町議会議長賞  
比田七海 (東中3年)
- 教育長賞  
関根あるく (函南中1年)
- 社協会長賞  
山口陽奈 (東中1年)
- 三島地区保護司会長賞  
山田愛莉 (西小6年)



▲表彰を受ける受賞者

大会の後半では、「青少年を取り巻く有害情報環境対策講座」が行われ、「ケータイに潜む危険」のDVDの視聴が行われました。

携帯電話、インターネットの利便性やデジタルの情報 の有用性は、私たちの日

常生活に大きな恩恵を与えてくれます。しかし、その反面、有害サイトの氾濫、ネット上を縦横無尽に往来する誹謗中傷の情報や、これらに伴う事件の発生などの有害情報から青少年を守り、安心して活用できる情報環境対策講座を行いました。

## 青少年健全育成 関連事業

### 東部ふれあい体験塾

7月29日～8月3日までの6日間、(長野県松川市松川青年の家)で、「東部ふれあい体験塾」を実施しました。

東部の3市3町(沼津市・裾野市・伊豆の国市・函南町・清水町・長泉町)の中学生49人が参加しました。今回一緒に参加した担当者の感想を紹介いたします。

研修を行った6日間は天候に恵まれました。研修は、1日目から6日目まで

## 親子ふれあい映画会

7月29日、午前・午後に分かれて「親子ふれあい映画会」が開催されました。

親子のふれあいの場として毎年開催しています。

今回は、「マジック・ツリーハウス」を上映し、約500人が鑑賞しました。

参加者からは、「冒険をしているようでハラハラわくわくしておもしろかった」などの感想が聞かれました。

## (仮称)図書館等複合施設の工事の様子

8月1日現在の工事の進捗率は、約70%です。

平成25年4月の開館に向けて、準備を進めています。



▲建設途中の(仮称)図書館等複合施設

過ごすことができたのではないかと思います。

親元から離れての集団生活を通して「協調性」や「自主性」、「あいさつ」や「時間厳守」などを学んでくれたと思います。

ここで学んだことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。



▲最終日の夜のキャンプファイヤーは大いに盛り上がりました。

## 親子で考える平和展

8月2日～8月5日にかけて、「親子で考える平和」が函南町中央公民館で開催されました。

この展示は、親子で戦争の悲惨さや平和の尊さ、命の大切さなどについて考えていただくきっかけ、また平和への祈りを込めて毎年

毎日内容がとても充実していたと思います。その中でも印象に残っていることが2つあります。

1つ目はテント内での生活です。研修生が自分たちでテントを設営し、その中で生活をしました。普段とは違う環境のテント内での生活、早朝のテントの間から入る朝日での目覚めなどは、滅多に体験することができないので、いい思い出になったと思います。

2つ目は、みんなです。最後の夜のキャンプファイヤーです。友だちになった研修生と、ダンスなどの出し物で盛り上がり、最後にみんな目を閉じて、研修を振り返りました。

研修初日の不安そうな顔は一切見られず、みんな楽しんでいる姿がとても印象的でした。

帰りのバスの中で、「友だちができて良かった」などの感想を話してくれました。

研修生、指導員が一つになり、充実したひとときを



▲朗読読み聞かせの様子

開催しています。

内容は、戦争と平和に関する写真パネル(ポスター)の展示、ビデオ上映、朗読読み聞かせなどを行いました。

来場者の意見・感想の一部を紹介します。

■戦争の辛さを語りつづける人が少なくなっている人が少なくこの頃です。が、このような形で開催していただけると、子どもたちへ戦争の辛さをきちんと伝える事ができるので、継続して活動していただけると幸いです。(41歳 男性)

■何度見ても胸が痛くなります。終戦一年前に生まれましたが、父母から戦争の事はよく聞かされて育ちました。子どもたちや孫たちにも伝えていきたいと思えます。ありがとうございます。(67歳 男性)

■今まで自分は何も知らなかったのだと思った。はじめて戦争についてしっかり考えてみて、あまりにひどいことが多すぎて、頭がクラクラした。地球は、今は平和だと思っていたけど、内戦をしている国がいっぱいあります。人類が平和にさせるようにしたい。

生きている人、生き物、植物、誰もが幸せな世界になつてほしい。(14歳 女性)

■せんそうでやられてしまった人もがんばって逃げたと思います。だけど、たくさんの方がやられてしまつてすごくかなしくなりました。(7歳 女性)